

2022年11月28日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社アンビエンテ丸大様が SDGs(エコ)私募債(保証協会保証付私募債)を発行

株式会社アンビエンテ丸大様(本社:旭川市、社長:西野尾 孝子氏、資本金:6千万円)は、2022年11月29日に第2回無担保社債(株式会社北洋銀行・北海道信用保証協会共同保証付)「SDGs(エコ)私募債」3千万円を発行します。年限は5年、受託(財務代理人に就任)・引受についても北洋銀行が行います。本件私募債の調達資金は事業資金に充当する予定です。

同社は1989年3月創業の産業廃棄物処理業者です。上川管内唯一の焼却処理施設を有しており、旭川市を拠点に産業廃棄物の焼却・破碎処理事業を行っています。

当社は2005年にISO14001を取得し、2020年には本社隣接地に「森」を整備しました。また、「SGEC-COC 森林認証」を取得し「SGEC-FM 森林認証」森林を所有するなど限りある資源を有効に活用しています。「循環型社会に対応した企業活動の展開」を指向し、再生処理・再生製品製造に加え、破碎処理により生成された堆肥を使用し関連会社の(有)アグリ・コーポレーションにて農産物加工販売も行っています。

2015年には環境を配慮した企業活動を展開する業者に与えられる北海道のグリーン・ビズ制度の認定を受けています。

「SDGs(エコ)私募債」の発行は、環境に配慮した取組みを自主的・積極的に行っており、かつ国もしくは地方公共団体等の認定、登録を受けた企業に限定されます。また、企業規模、財務、収益内容についての厳しい発行基準(適債基準)を満たしていることが必要であり、発行企業は“環境保全に貢献している優良企業”として社会的評価がなされます。

「SDGs(エコ)私募債」は、銀行保証型、保証協会保証型の2種類があり、「SDGs(エコ)私募債(保証協会保証型)」は物的担保の代わりに信用保証協会と取扱金融機関の共同保証を受けることで、無担保で社債発行が可能になるものです。



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。